令和８年度第３回中部地区幼稚園教諭・保育教諭・保育士・小学校教諭等の合同研修会

開催日時：令和８年１０月２０日（火）
実践発表：「集団の中で一人一人が輝く保育を目指して」
　　湯梨浜町立たじりこども園　八田　美緒　保育教諭
講義　　：「『共に育ち　共に学ぶ』環境づくり」
　　鳥取県教育委員会事務局　中部教育局　指導主事
内容　　〇保育・教育の中で子どもの姿をどうとらえるのか
　　〇基礎的環境整備をどう整えていくのか

実践発表や講義を通して、一人一人の個性や違いを認め合い支え合う「共生社会の実現」に向けての考え方について学びました。また、「園全体・保育室の環境」「関わり」「遊びの工夫」など、基礎的環境整備の質をあげていくことが、子ども一人一人の主体性や意欲を引き出していくという点についても理解を深めました。

どのような環境であれば子どもが共に学んでいくことができるのかという視点をもって大人が環境や関わり方を見直していくこと、さらには職員間や組織全体で連携を図って子ども達の育ちや学びを支えていくことの重要性を改めて感じた研修会となりました。





以下、参加者の振り返りをいくつか紹介します。

◆子どもの年齢や大人の思いだけで進めるのではなく、目の前の子ども一人一人を見て、興味や関心、得意なことを見取りながら保育を進めていくことの大切さを学んだ。
◆多様性を活かした保育・教育を行うには、環境や関わりを工夫していくことが大切だと改めて感じた。そのために、子どもの気持ちに寄り添い、内面をしっかりと見取っていきたい。
◆「大人の思いを実現する保育から子どもの思いを実現する保育へ」という言葉が、今回の研修で最も心に残った。これまで当たり前のように考えていた保育のあり方を改めて見つめ直す機会となった。
◆クラス職員と連携を図りながら、その子なりの集団参画ができる方法や援助を考え、実践していきたい。
◆伝統ある行事の見直しは勇気がいることだと思うが、「今までもやってきたから」ではなく、今目の前にいる子どもの姿に合わせて工夫することが大切だと思った。
◆園全体で同じ思いをもって保育に取り組めるよう、職員同士をつなぎ、安心して意見を交わし合える環境を整えることが自分の役割だと思った。日々の対話を大切にし、よりよい職場環境をつくっていきたい。